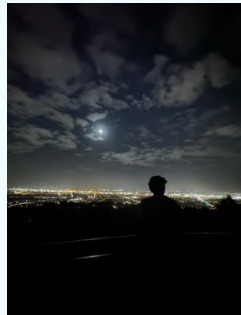


# CIP Newsletter

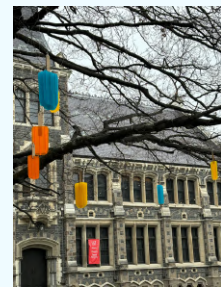
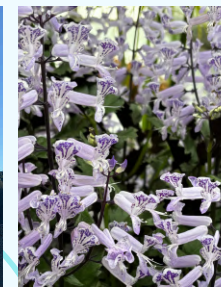
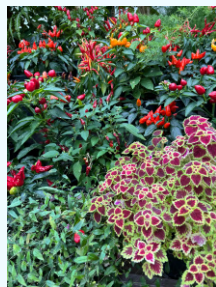
ニュージーランド出身香取市国際交流員  
花田サミュエル卓也 (サム)

## 一番幸せな都市

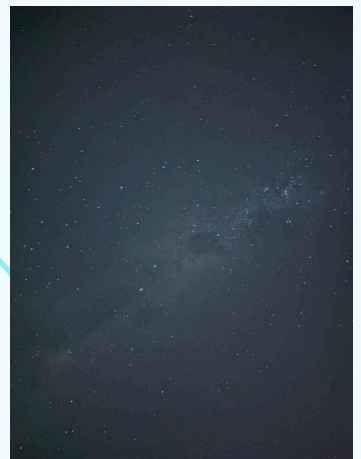
クライストチャーチが最近、ニュースメディア『Stuff』によって、ニュージーランドで最も幸せな都市に選ばれました。そして、ハッピー・シティ・インデックスによると、クライストチャーチは世界で32番目に幸せな都市に選ばれました。このランキングは、市民、ガバナンス、環境、経済、モビリティに基づいています。幸福度ランキングは人によって異なりますが、クライストチャーチがこのランキングで上位に入ったことは興味深かったです。今回のニュースレターで、5月に3週間クライストチャーチに帰ったことについてお話ししたいと思います。



5月の帰省は、日本に引越してから初めての帰国でした。2年ぶりに帰省してみると、町の様子や雰囲気が変わったと思いました。2011年のクライストチャーチ地震からの復興はまだ続いているようですが、新しいビル、レストラン、アトラクションなどが沢山できていました。クライストチャーチはガーデン・シティと呼ばれ、以前は様々な庭園に行ったことがありましたが、人生の大半をクライストチャーチで過ごしたにもかかわらず、行ったことのない庭園をたくさん見つけました。滞在中、様々な庭園、自然保護区、アートギャラリー、温水プールなどに訪れ、素敵な景色をたくさん見ることができました。



観光客のように自分の地元を歩くのは、とても面白かったです。また、ニュージーランドの自然と触れ合ったり、友達と遊んだりすることで、クライストチャーチがハッピー・シティ・インデックスで上位にランクされている理由が少しわかったような気がしました。唯一の欠点は、車がないと行けない場所がたくさんあることです。日本でも車がないと不便な地域はありますが、ニュージーランドに比べると、日本の公共交通機関はとても利用しやすく、レンタカーやガスもとても安くて便利だと気づきました。





英語が母国語なのに、友だちから「英語が変わったね」「話し方が変だね」と言われました。日本に住んでいる間に、自分の発音が変わったらしく、話し方が丁寧になったと同時に、なぜか悪くもなったと言われました。今、英語を喋れる人の発音、ペース、表現がニュージーランドと全く違うので、ある程度ニュージーっぽさがなくなってきたと気づきました。

今回の旅では、食めぐりもしました。日本に来る前によく行ってたご飯屋さんや新しくできて気になった場所に行き、ずっと食べたかった物をお腹が爆発しそうになるまで食べました。日本食、韓国料理、ニュージーランドで有名なフィッシュ&チップス、ロースラム、ミートパイなどをたくさん食べました。日本では、外食は大体1500円以下で済ませるけど、ニュージーランドでは基本3000-5000円ぐらいでした。物価だけじゃなく、カロリーもすごく高かったです。なんでも美味しかったけど、全てが油濃くて、しょっぱくて、甘かったです。3週間だけで6キロも太りました。



ニュージーランドに帰るのは楽しかったのですが、ずっと日本が恋しくて、逆ホームシックになりました。日本の生活、友だち、アパートが慣れていたので、3週間はすごく長く感じました。また、冬に入る時期でしたが、自動販売機の暖かい飲み物やカイロなど、日本では簡単に手に入るのにニュージーランドではどこにもないものがたくさんありました。それを気付いたら、やっぱり日本はすごい所だと思いました。クライストチャーチはハッピー・シティ・インデックスで上位にランクされていますが、今のところ香取市は自分の中で第1位です。

FacebookやInstagramで香取市での生活や観光、ニュージーランドの文化など英語と日本語で発信しています。見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非Facebook・Instagram・3階の商工観光課にてお声掛けください。

